

**配管を強靱にする排水管更生で
ビル・マンション・団地・公営住宅を
元気にするP・C・G 協会です。**

建設業・設備業の皆様へ
今、一番脚光を浴びている
ビル・マンション・団地・
工場・船舶・公営住宅・
公共施設の給・排水管
更生事業のご案内
下水道管と同様に団地・
ビル・マンションの排水管
もインフラ整備の時代です。

P・C・G 協会は全国ネットの施工網を目指しています

施工依頼急増のため施工会員様募集!

全国で活躍中の施工代理店様3社による成功事例紹介

康彦社 秋田県 福山市
新井カンパイ 新潟県 新潟県 新潟県
新潟県 新潟県 新潟県

第3の再生パイプ工法
**PIPE
IN
PIPE**

3月3日(火)~6日(金)
建築建材展
マンション管理・リフォームゾーン
東京ビッグサイト西3・4ホール
新事業ご相談会も展示会場で開催!

“特許工法”

**今、一番脚光を浴びている
新規事業のご案内**

全国より有力加盟企業急増中です!

- 水道緊急メンテナンスス業の御N.Vision様 (広島県広島市)
- 広島市に続いて静岡市でもスタートし、沖縄展開も準備中!
- 給・排水管更生のトップランナーいずみテクノノス様 (東京都)
- 下水道管更生工事の御東洋建設 (御協同清美様) (横浜県)
- 下水道管更生工事、排水管洗浄の御協同清美様 (横浜県)
- 廃棄物処理業の御ヒロセ様 (新潟県新潟市)
- 防水工事・塗装工事業の御双葉建設 (山梨県山梨市)
- 下水道管工事の御定規建設様 (福井県福井市)
- 上下水道・し尿処理施設建設・給排水事業の
ミキメンテナンステック (新潟県十日町市)
- 下水道・処理施設維持管理業の大西衛生(株)様 (京都府京丹後市)

給・排水管更生の
ご用命は正規施工代理店に
お申し付けください。

＜主・P・C・G協会事務局＞
株式会社 **P・C・GTEXAS**
一 創業平成13年/資本金5000万円
＜主・P・C・G協会法関連元＞
株式会社 **P・C・Gテクニカ**
一 創業昭和39年/資本金9,800万円

首都圏本部
〒141-0001
東京都品川区北品川
5丁目7番4号
グローバル情報館11棟
TEL 03-3440-6401

本社/販設センター
〒466-0015
名古屋市中区栄
1丁目1204番地
P-C-GTEXASビル
TEL 052-804-0081

販設事務所
〒663-8184
名倉市天白区南町
1丁目3番27
グループ大川11棟
TEL 0798-31-2370

フリーダイヤル もおしやさん
0120-014834

排水管更生
NO.1

<http://www.pcgtxas.co.jp>

**特許
取得技術**

ホームページ

三協アルミ

Before

After

1日で完了。高性能な窓リフォーム

STINA-R

アルミ樹脂複合サッシ エスティナ-R

スリムフレームのマンション改修用
サッシが新登場。

※1 防火・非防火 / Low-E複層ガラス アルゴンガス入り / 引違い窓・FIX窓・すべり出し窓
※2 引違い窓 ※3 最大瞬間風速67m/sに耐えられる性能

三協立山株式会社 三協アルミ社

〒933-8610 富山県高岡市早川70 ビル統括部 STER部 TEL(0766)20-2232

ビル・建築物の環境対策

脱炭素社会へ進化

ダイダンの拠点ではバイオフィリックデザインを採用し、働く人が心地よさや安らぎを感じる空間を構築している
(ダイダン北陸支店)

環境配慮で人居意欲向上

ビルの環境性能は不動産価値に直結する。近年のテナント企業は物件選定時に環境性能を重視する傾向にある。多くの大手企業はサプライヤーに対しても脱炭素の取り組みを求めている。事業拠点の環境性能も評価の対象となり、環境性能の高いオフィスに入居していることが優先的に選定される要因となる。そのため環境基準を重視する企業から入居先として選ばれやす

い。環境性能が高いビルは脱炭素対応になるだけでなく、光熱費を抑えられる。このため、テナントの人居意欲が向上し、稼働率向上につながる。賃料も高めに設定できる。

また世界的に建築物の環境規制は強化される傾向にあり、省エネ基準への適合義務化が段階的に拡大している。基準に適合していない場合、将来的な規制強化や需要低下により、資産価値の下落リスクが高まる。建築物の環境規制に対応しておくことで、資産価値の目減りを防ぐ。

知的生産性

ビル内の温度や湿度、光、音などは働く人の心身に大きな影響を与える。最近の環境

性能に加えて、ウエル オフィスビルに求めら

ZEBを実現するための技術

創エネ (CREATE)
再生可能エネルギーを活用する
●太陽光発電
●バイオマス発電 など

アクティブ (ACTIVE)
エネルギーを無駄なく効率的に使う
●高効率照明
●高効率空調 など
人があるエリアを集中冷却

パッシブ (PASSIVE)
必要なエネルギーを減らす
●日射遮蔽
●外皮性能向上
●蓄光利用
●自然換気 など

環境省の資料を基に作成

ZEB―快適・省エネ両立

ビルの環境性能を高めるには、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル (ZEB) 化が有効の効果が期待される。夏の日照遮蔽には外付け遮蔽設備システムや制御技術などを導入して大幅な省エネを図り、太陽光発電やバイオマス発電などでエネルギーを電などエネルギーを創出する。これにより、年間の1次エネルギー消費量収支ゼロを目指す。

ZEBを構築するには、消費エネルギーを減らすための技術 (パッシブ技術) を取り入れる必要がある。外壁や屋根などの断熱・気密性能を高めた上で、冬は日射を利用して暖房効率を上げ、夏は日射を遮蔽して冷房負荷を低減する。

開口部力ギ

ZEB化において、開口部は重要なポイントとなる。建物の開口部は外皮の中でも最も熱の出入りが多く、省エネ性能に大きな影響を与える。Low E 分離方式空調システム

ウエルビーイング向上に対応する技術の例として、個別空調が挙げられる。小型の空調機を設置し、個人の好みに応じた温度や湿度に調整する。また、人間の生体リズムに合わせたサーカディアン照明は、朝は青白い光で活力を与え、昼は白色光、夜は暖色系の光でリラクスを促すなどで、睡眠の質向上や健康維持を支援する。そのほか植物や水、自然光を空間に取り入れた「バイオフィリックデザイン」、業務内容や気分に応じて動く場所を選べる「アクティビティ・ベースド・ワーキング (ABW)」などの要素がある。これらを取り入れることで、働き手の知的生産性向上が期待される。

など従来技術の高度化や実用化が進み、省エネと快適性を両立させている。ZEBはこうしたエネルギー消費量を減らす工夫をした上で、太陽光発電などでエネルギーを生み出し、活用する。太陽光発電の設備は主に屋上に設置されるが、高層ビルの場合、建物の面積に対して屋上面積が狭く、電力需要に対して発電量の割合が少なくなってしまう。最近では壁面や窓面に導入できる建材一体型太陽光発電システムの開発が進んでいる。建築の壁に適用でき、意匠性が確保されたモジュール、窓に取り付けでき、透視性のあるシースルータイプなどさまざまなシステムが誕生している。蓄電池を組み合わせたことで、停電時にも建物内の設備に電力供給できる。事業継続計画 (BCP) 対策に有効だ。

未来を創造し次代へつなぐ。

三建設備工業は、総合エンジニアリング企業として、
ZEB = Net Zero Energy Building
《ネット・ゼロ・エネルギー・ビル》を推進しています。



SANKEN
ENVIRONMENTAL
ENGINEERING

0

**NET
ZERO
ENERGY
BUILDING**

「ZEB **LIVE** 実況中!」



空気と水の環境創造企業

SANKEN
ENVIRONMENTAL ENGINEERING

三建設備工業

<https://skk.jp/>

**ZEB
PLANNER**
ZEB29P-00006-PGC



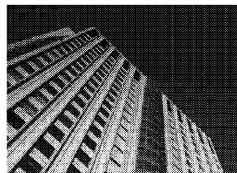
ダイダン

目立たないことが、設備会社の誇りです。

人間は、不快に敏感で、心地よさには鈍感な生き物です。暑くもなく寒くもない室温。色も臭いもない水。停電や電波障害のない日常。心地よい状態はあたりまえで、それを支える設備の存在を意識する機会はありません。逆にいえば、注目されない設備工事会社ほど、トラブルが少ない優良企業だとも言えます。だからダイダンは、なるべく思い出されたいことを目指します。目立たないことが、何よりの誇りだから。

大切なビルを、
未来に活かすために。

高度経済成長期以降に建てられたビルが次々と老朽化を迎え、ストック対策が喫緊の課題です。今ある資産を、未来に活かすために。大気社のリニューアル技術や省エネ技術で、機能や質の充実を目指し、ビルのスマート化、セキュリティ化を進めていきます。大気社は、お客さまの大切なビルの資産価値向上に、貢献していきます。



【ビルリニューアル】

環境をつくる技術は、
未来をつくる技術。



ビル・建築物の環境対策

有力企業の製品・技術
順不同

三協立山

三協立山が販売する「STINA-R」は、Low-E複層ガラスで業界トップクラスの断熱性能H-6を実現したビル改修用アルミ樹脂複合サッシ。開口部の断熱性能向上により、既存建物の省エネ化促進に貢献する。

大気社

大気社はエネルギー・空気・水に関わる先進技術で、人が快適に過ごすための空間や、モノづくりに最適な空間づくりに貢献している。

2024年8月にオフィスや医療施設などの大空間でも使用できる、天井裏ダクト接続型の

ダイダン

デジタル技術を活用して建物の機能や価値を高め、建物の利用者の快適性、安全性、生産性を向上させる次世代建築物としてスマートビルが注目されている。

ダイダンはスマートビル向けソリューションとして、クラウド型の監視制御システム「リモビス」やデジタルツインとAIを活用した高度な制御技術を実用化してきた。これからの、スマートビルに向けたアプリケーション開発を推進し、建物のユーザビリティ向上とカーボンニュートラルなどの社会課題解決に貢献していく。

三建設備工業

三建設備工業はZEBの普及を推進している。2013年度につくばみらい技術センターにおいて業界に先駆けてNet ZEBを達成し、その後もZEBプランナーとして実績を積み上げている。

P・C・G協会

P・C・G協会は古くなった配管を取り替えずに再生する工法を展開している。審査証明取得済みの特許工法で近年、施工依頼が急増している。下水道管だけでなくビルやマンション、公営住宅、公共施設の配管も老朽化

る。壁を壊さずにリフォームが可能なカバー工法で、1窓につき半日程度で工事が完了し、工期やコストの削減に寄与する。眺望性や採光性に配慮したスリムなデザインでありながら、耐風圧性能や水密性能など暮らしを守る耐久性能も確保している。

空間除菌システム「Airaiser（エアライザー）」を開発した。

除菌効果の高い深紫外光（UVC）LEDを光源に採用し、光触媒フィルターと組み合わせることで、室内空気中のウイルスや細菌だけでなく、対策の難しいカビも効果的に削減できる。

近年では、省CO₂とBCP対応だけでなく、バイオフィリックデザインやABWのワークスタイルを導入し、建物利用者の健康面や知的生産性の向上も図っている。同社は今後も地球環境だけでなく、人にも優しい、安心安全で快適な空間づくりを通して、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していく。

問題に直面している。築40年以上のマンションは全国で148万戸に達する。早急に対応できるように、全国規模で施工網の構築を目指している。

3月3日から東京ビッグサイトで開かれる「建築・建材展」で建設業、設備業向けに新事業相談会、プレゼンテーションを実施する。